

「カカシカ」―君へ

シカ科

危険度..

生息数..

生態

カカシカはシカ科の禍だ。カカシカ科というグループは存在しない。カカシカモドキもシカ科で、マガカシカはカカシカと同種だ。カカシカは憑いた人間の寿命を撰取して生きている。過去の禍研究者達が短命だったのはそのせいだと思う。憑かれた人間は禍を見る事ができるようになるが、それはカカシカそのものとの接点を持たせるため、寿命を撰取するための行動だ。

解説

それでも俺の考えは何も変わらない。この事実にはかなり前から気づいていたけ

ど、言う必要性を感じなかった。ひよつとしたらそれもカカシカの生態の一部なのかもしれない。君にこの事実を隠し続けることも考えた。でもそれは違う。君には俺の寿命を使つて、共に生きるという選択をして欲しい。俺だけが自己満足で自己犠牲で、そんな関係は嫌だ。結局俺のわがままに付き合わせる形になつてしまったことは謝りたい。

対処法

カカシカにこの事実を突きつけることはどれだけ残酷なことだろう。恐らく君がこの事実を知らないことさえもカカシカの生態の一部。憑いた人間を騙し、接点を持ち続けるためにはカカシカ自身もこれを知らない方が都合がいい。だから対処法として、こうして君に事実を突きつけるといふ行動は成り立つ。そうして心が折れてしまったカカシカは、マガカシカとして生きるしなくなるということなんだろう。このページは禍可視至奇記に追加しておく。君が製本されたこの本を読んで、それでも俺と共に生きてくれるなら、また俺にいつものよう

に、あの時のように、傍にいて、話しかけてくれればいい。

